



ななほ

市民の友

第683号 毎月1回発行
2007年(平成19年)

12月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2007(平成19)年10月末現在	
総人口	314,353 (2,129)
男	152,733 (1,126)
女	163,749 (1,003)
世帯数	131,190 (1,298)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	93,928
真和志	104,818
首 里	58,058
小 禄	57,549



みんなで考えよう地球環境

主な紙面

- 「そだごみ」って
どうやって処分するの? 2
- 平成20年度保育所入所児童募集 3
- 平成19年を振り返って 4・5
- 情報PACK 6・7

2007那覇市環境フェア

レジ袋の有料化実証実験や、廃食用油を環境に負荷の少ない燃料に変えて再利用する事業の開始など、市民のみなさまの環境への関心が高まる中、「始めよう あなたのエコライフ」をテーマに、「2007 那覇市環境フェア」が11月11日(日)、新都心公園で開催されました。

近年の地球温暖化問題を背景に、今年も様々な二酸化炭素排出削減に向けた企業や団体の取り組みや、環境にやさしい商品を紹介するコーナーなどが多く出展され、来場者の人気を集めていました。

また今年は、10月から(一部店舗では9月から)新都心地域のスーパーなどで、レジ袋が有料化されたことから、マイバッグの展示や買い物袋持参運動の紹介コーナーなどにも多くの人たちが訪れ、関心の高さを伺わせていました。

ステージでは、中学生による意見発表、空手&古武道の演武、那覇太鼓によるエイサーが披露されたほか、警察犬のデモンストレーションや沖縄の伝統風作り体験コーナー、環境にやさしいペタクシーの試乗体験コーナー、エコカフェテリアなど、大人から子どもまで楽しめるプログラムが用意され、会場を訪れた全ての人たちが一緒になって、楽しく環境保全と地球温暖化防止の必要性について学んだ一日となりました。

協働のまちづくり つむぎ 那覇を紡ぐ

30

市では、市民のみなさまの基本健康診査の受診数改善と健康の維持・増進を図るため、NPO沖縄県健康管理士会(以下「管理士会」という。)との間で、「基本健康診査受診数改善活動事業」の協定を交わしました。

今回の協定締結は、協働によるまちづくり事業の一環として行われたもので、「健康な21」の理念である「市民が自己実現に向けていきいきと暮らすまちづくり」という共通の目標のもと、市民一人ひとりが自分の健康状態を把握できるよう、様々な情報提供や健康指導をすることによって、予防医学の大切さを認識し、市民のみなさまの基本健康診査の受診数改善を図ることを目的としています。

この目的の実現のために、管理士会のメンバーが中心となった、「がんじゅう応援隊」のみなさんが、市の住民健診が行われる、7月2日から11月30日の期間中に、市民のみなさまのお宅を、一軒一軒戸別訪問し、住民健診に関する案内や情報提供、受診申込のお手伝いなどの活動を行いました。

締結式で翁長市長は、「市民の健康づくりと基本健診の受診率向上に、ボランティアで尽力されているみなさんの活動に感謝します。生活習慣病は発病してからでは治

受診数アップ も協働で

また、管理士会の照屋希曜理事長も、「市民のみなさまに、明るく・幸せで・輝きに満ちた人生を過ごしていくためにも、健診を受けて、ぜひご自分の健康に興味を持っていただきたい」と受診の必要性を訴えました。

昨年度の40歳から74歳までの市内の国保加入者の基本健康診査受診率は17・3%です。来年から5年間で65%の受診率を達成できない場合は、平成20年度からスタートする新たな後期高齢者医療制度での74歳以下の者の負担する金額が大きくなります。

市民のみなさま、自らの健康と愛する家族のため、基本健康診査を受診するようにしましょう。



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。



協定書の調印式で、がんじゅう応援隊のみなさんにお礼を述べる翁長市長